

◆三友：NOKIA 製プロ向け360° VR カメラOZO 国内発売開始



映像情報設備の企画開発・施工を手掛ける三友株式会社はNOKIA 製 NOKIA 製 プロ向け3D 360° VR カメラ「OZO」の日本国内での販売を、2016年12月26日(月)より開始した。

「OZO CAMERA」はプロ仕様で信頼性の高い3D 360° VR キャプチャ機能を、簡単な操作で利用できるカメラ。滑らかな一体型ユニボディデザインに、グローバルシャッターで同期される8つのカメラセンサー(片目4K 立体視)を備えている。また、単一出力ケーブル1本か、バッテリーとメモリソリューションのカートリッジ1個のいずれか一方を選択するだけですべてのキャプチャした動画および音声を1つのファイルに出力できるため、VR制作を大きく簡略化することが可能である。

●リアルタイムのVR モニター

OZOのシングルケーブル出力デザイン(および最新のUpgradeにより搭載された無線モニタリング機能)により、ユーザーはOZOカメラでキャプチャするあらゆるものを他にはないVRリアルタイム・モニタリング機能によりHMDを通じて見聞きして確認することができ、キャストの演技をディレクターへリアルタイムで双方向的にフィードバックできる。

●立体的な音声

8つのカメラセンサーが動画をキャプチャし、片目4Kの立体映像を提供することに加え、OZOは8つのマイクでフル3Dの立体音声をキャプチャする。ヘッドセットへの方向性を追従するために、ソフトウェアによるレンダリングを行い、人間の耳が自然に感じる方法で音を再現し、他にはない豊かで完全没入型のVR体験を可能にする。

●制約のないクリエイティビティ

「OZO CAMERA」の付属デジタルカートリッジは一体型の交換可能なバッテリーおよびメモリソリューションで45分間の録画が可能。すべての動画と音声を1つのファイルに保管できるため、何枚ものSDカードを使う必要が無く、カメラの取り付けや配置も自在に行うことができ、クリエイティビティが広がる。

■仕様

メーカー：NOKIA(フィンランド)

製品名：OZO CAMERA / オゾ カメラ

レンズ数：8

ビデオセンサー：片目4K 立体視

キャプチャーフレームレート：30.00 fps

マイク数：8

サラウンドサウンド：360°

重さ：4.2kg

専用ソフト：OZO Software Suite 標準装備

■出展予定の展示会

・2017年1月25日～26日 三友カメラ内覧会 [電波新聞社]

・2017年1月26日～27日 沖縄放送舞台総合機器展[ミュージックタウン音市場]

・2017年2月23日～24日 CP+2017 [パシフィコ横浜 会議センター]

【本件に関する問い合わせ先】

三友株式会社 ソリューションデザイン本部

担当：田中 誠

TEL：03-6408-1460 FAX：03-3440-7756

e-mail：makoto_tanaka@mitomo.co.jp

◆アドビ：Microsoft Dynamics 対応Adobe Sign の最新バージョンを提供開始

アドビはMicrosoft Dynamics 対応Adobe Sign の最新バージョンの提供を開始した。Adobe Sign はビジネスに不可欠な既存のシステムに電子サインを組み込み企業における承認プロセスを迅速かつシンプルにするソリューション。Adobe Sign とMicrosoft Dynamics オンプレミス版およびオンライン版を連携させることで、より多くの取引を、より短い時間で成約させることができる。この機能強化はアドビとマイクロソフトとの戦略的パートナーシップに基づくものであり、アドビ製品、Microsoft Azure、およびMicrosoft Dynamics 365の統合を通じ、企業の顧客とのエンゲージメントの向上を支援するもの。

Adobe Sign 最新バージョンは、既存のMicrosoft Dynamics CRM ワークフローに信頼性の高い電子サインを追加することで、セールスサイクルを短縮し、案件成約までのプロセスを迅速化する。Adobe Sign の活用により、署名が必要な文書をDynamics から直接送信、保留中の契約をリアルタイムでトラッキング、どのデバイスからでも数クリックでサインを行うことが可能。また、契約書への署名が完了すると、その文書のコピーがすべての承認者にPDF で自動的に送信される。また、Adobe Sign をDynamics 365で活用、Adobe Sign ライブラリから誰もが使用できる文書のテンプレートを共通フォーマットとして作成、リアルタイムに文書の承認状況を追跡、Safari、Google Chrome、Internet Explorer などの主要ブラウザに対応などの新機能も追加された。

Adobe Sign の設定は数分で完了しコーティングなしで現在使用中のDynamics ワークフローに組み込むことが可能。企業向けに無償体験版も提供されている。

アドビはMicrosoft Dynamics 対応Adobe Sign の最新バージョンの提供を開始した。Adobe Sign はビジネスに不可欠な既存のシステムに電子サインを組み込み企業における承認プロセスを迅速かつシンプルにするソリューション。Adobe Sign とMicrosoft Dynamics オンプレミス版およびオンライン版を連携させることで、より多くの取引を、より短い時間で成約させることができる。この機能強化はアドビとマイクロソフトとの戦略的パートナーシップに基づくものであり、アドビ製品、Microsoft Azure、およびMicrosoft Dynamics 365 の統合を通じ、企業の顧客とのエンゲージメントの向上を支援するもの。

Adobe Sign 最新バージョンは、既存のMicrosoft Dynamics CRM ワークフローに信頼性の高い電子サインを追加することで、セールスサイクルを短縮し、案件成約までのプロセスを迅速化する。Adobe Sign の活用により、署名が必要な文書をDynamics から直接送信、保留中の契約をリアルタイムでトラッキング、どのデバイスからでも数クリックでサインを行うことが可能。また、契約書への署名が完了すると、その文書のコピーがすべての承認者にPDF で自動的に送信される。また、Adobe Sign をDynamics 365 で活用、Adobe Sign ライブラリから誰もが使用できる文書のテンプレートを共通フォーマットとして作成、リアルタイムに文書の承認状況を追跡、Safari、Google Chrome、Internet Explorer などの主要ブラウザに対応などの新機能も追加された。

Adobe Sign の設定は数分で完了しコーディングなしで現在使用中のDynamics ワークフローに組み込むことが可能。企業向けに無償体験版も提供されている。

◆日本エレクトロ・ハーモニクス : BSM の新製品 「Galaxy 1011」を発表

～真のリッチー・マニアに贈る！

AIWA テープ・レコーダーのマイクプリ部を忠実に再現！～



日本エレクトロ・ハーモニクスはBSM の新製品「Galaxy 1011」を発表した。

「Galaxy 1011」はギタリスト、リッチー・ブラックモアが1974年から現在に至るまで使用しているAIWA テープレコーダーのマイク・プリアンプ回路を忠実に再現しており、入手困難なオリジナルの

AIWA TP-1011 を探しているようなリッチー・ブラックモア・マニアに向けて作られた製品である。

リッチー・ブラックモアがブースターとして使用しているAIWA のTP-1011 というテープレコーダーのマイク・プリアンプ部は本来マイク用に設計されたものだが、ギターのパリウムを最大にすると迫力のあるソロやパワーコードに最適なクランチ・サウンドが出せることを彼が発見した。レインボーのアルバム「ダウン・トゥ・アース」や「バビロンの城門」などで聴くことができる真空管オーバードライブ・サウンドは、TP-1011 をMarshall Major アンプに繋いで作り出している。

「Galaxy 1011」は主にMarshall Major アンプ向けに設計されており、リッチーと同じサウンドにするにはMajor かそれと同じ回路構造のアンプを、それ以外のアンプ用にはBSM のRPA かStudio'75 が推奨されている。寸法は77W × 113H × 53Dmm、重量は283g、電源は18V DC。9V 乾電池も使えるが18V アダプターと比べるとダイナミクスとヘッドルームが失われる。

【本件に関する問い合わせ先】

担当：菊地

TEL : 03-3232-7601 FAX : 03-3232-7424

e-mail : kikuchi@electroharmonix.co.jp

◆日本エレクトロ・ハーモニクス : Roger Mayer の マイク・プリアンプ新製品を発売

～ジミヘン、ストーンズ、スティービー・ワンダーが
使用したマイク・プリアンプが現代に蘇る～



新製品の「456 Microphone Pre-Amplifier」はジミヘン、ストーンズ、スティービー・ワンダーなどがスタジオで使用していたマイク・プリアンプを再現したものである。ジミヘンのサウンド・エンジニアとして知られているロジャー・メイヤーは1970年代にはスタジオ用にコンソールを製作していた。ジミ・ヘンドリックスがAxis Bold as Loveで、またローリング・ストーンズがJumpin Jack Flashで使用したロンドンのOlympic Studios、スティービー・ワンダーがInnervisionsやMusic of My Mindで使用したニューヨークのElectric Lady StudiosとRecord Plantなどの有名スタジオでコンソールに装備され、数々の名盤で使用されたマイク・プリアンプをラックマウント機として現代に蘇らせたものが「456 Microphone Pre-Amplifier」である。

当時と同じくICを使わずに厳選したパーツのみを使用した、ディスクリット回路設計を採用。マイク・プリアンプの黄金期のサウンドが蘇る。また、デジタルでは再現が困難なアナログ回路によるテープ・シミュレーションを搭載し、ボタン一つで、テープ録音ならではの魅力的な音質を簡単に再現できる。GAINとOUTPUT2つのノブで簡単に素早くレベルを設定でき、ファントム電源供給と位相反転スイッチも装備。VUメーターは素早く反応し精度が高く、キャリブレーション調整ができる。マイクに加えライン機器の接続もでき、それぞれ専用の入力トランスを搭載している。

寸法は483W×90H×250Dmm、重量は4.0kg、専用電源アダプター付属(+48V DC)、価格はオープン価格。

【本件に関する問い合わせ先】

担当：菊地

TEL：03-3232-7601 FAX：03-3232-7424

e-mail：kikuchi@electroharmonix.co.jp

◆ヒビノ：JBL PROFESSIONAL “Control 80 Series” 屋外用スピーカー発売



ヒビノ株式会社はJBL PROFESSIONALの屋外用スピーカー「Control 80 Series」を2016年12月20日より発売した。「Control 80 Series」は地面に設置するために設計された屋外用スピーカー。IP-56に適合する高い耐候性を備え、過酷な環境でも安定して優れた音響性能を発揮する。エンクロージャーにはエンクロージャーには頑丈な6mm厚のポリエチレンを採用、防塵と防水についての保護等級IP-56をクリアし、風雨の影響やスプリンクラーなどの噴流水の影響も問題ない。高域ドライバーのツイータードームには剛性率の高いポリエーテルイミド素材を使用し、強度と耐熱性が向上。低域ドライバーは、ポリプロピレン製のコーンをポリウレタンパーツで囲み、湿度への耐性を高めている。グリルやねじなどの金属パーツには錆びに強いステンレスを採用。上下が分離できる本体構造により、地面に固定したベース部分に水の侵入があってもコンポーネントや結線部のある上部を取り外してメンテナンスが可能である。

ドライバーは同軸の2-Way構造を採用。急峻なクロスオーバーで低域から高域までを滑らかにつなぎ、自然で明瞭なサウンドを出力する。また、広くフラットな再生周波数帯域を備えており、スピーチ

も音楽ソースも原音を忠実に再現する。Control 85Mは160W、Control 88Mは240Wの耐入力を実現。大音量も歪まずに出力し、周囲360°のカバレッジで広範囲に音を届けることが可能である。70V/100Vのマルチタップトランスを内蔵しており、ロー/ハイインピーダンス接続の両方に対応できる。また過大入力からドライバーを保護するSonicGuard保護回路も内蔵している。

ラインナップされたのはLF 5.25インチ、HF 3/4インチのControl 85M、LF 8インチ、HF 1インチのControl 88Mの2モデル。2年間の長期保証が付属する。

【本件に関する問い合わせ先】

TEL：03-5783-3110 FAX：03-5783-3111

◆ヒビノ：dbxのケーブルテスター「CT3」を発売



ヒビノはdbx(ディービーエックス)のケーブルテスター「CT3」を2016年12月21日から発売した。音響/映像機器の接続に使用される、XLR(3P)、TRS/TS標準フォーン、TRSミニフォーン、RCA、スピコン(4P)、BNC、DIN(5P)、DMX(5P)はもちろん、ネットワーク機器の接続に必須なRJ45(CAT5/6)やアナログ電話などに使われるRJ11の各端子を搭載したケーブルを1台でテスト可能。左右に分離できるので敷設済みのケーブルもそのままテストできる。付属のテスター棒を使用すれば非対応の端子を備えたケーブルや中継プラグなどの導通も確認でき、レベル調整が可能なトーンジェネレーター機能も搭載されている。全ての端子から信号が出力されるため、変換プラグを使用することなく多様な機器に直接接続できる。

CT3は、電源をONにしてケーブルの両端を対応する端子に接続するだけで結果を表示。簡単操作で使う人を選ばない。LEDの点灯パターンによって、ケーブルの状態を「正常」「断線」「クロス」「ショート」のいずれかに素早く判別できる。2年間の長期保証も付属している。

【本件に関する問い合わせ先】

TEL：03-5783-3110 FAX：03-5783-3111

◆Fullscreen Media Company :Blackmagic Design 製品を使用してオリジナル・コンテンツをデリバー

2016年12月22日、Blackmagic Designは世界的なメディア企業Fullscreenが3台のURSA Mini 4.6K デジタルフィルムカメラ、4台のMicro Studio Camera 4K ライブスタジオカメラなどのBlack magic Design カメラ、そしてその他のBlack magic Design ライブプロダクション製品を数多く使用して最近開始されたFullscreen プラットフォームにオリジナル・プログラムをデリバーしていることを発表した。

Fullscreenは6億人以上の加入者を有する世界的なメディア企業であり、オンライン・インフルエンサーの開発援助や、マルチ・プラットフォーム・エンターテインメントの製作などを行っている。Youtubeが急速な成長を遂げる中2011年に設立されたFullscreenは視聴者がコンテンツを視聴、共有できるビデオ・オンデマンド・プラットフォームを作成、製作サポート、スタジオおよび編集スペース、ミキシングサービスなどを提供するFullscreen Studioを設立し、優良なインフルエンサーたちがオリジナル・コンテンツの製作を通じて知名度を高められるようにしている。

プロダクションの最高責任者であるリチャード・A・ピザンテ氏によると、Fullscreenのデイリーコンテンツ・チームはコンテンツを撮影、作成、編集しFullscreenプラットフォームに直接デリバーしているという。同チームは3台のURSA Mini 4.6K カメラをENGタイプのデイリーに使用し、4台のMicro Studio Camera 4Kをスタジオセットアップに使用している。また、ニューヨーク・シティで行ったポッドキャストの撮影では、4台のMicro Studio Camera 4K、ATEM Television Studio、HyperDeck Shuttleをロケ撮影用のカスタム・フライバックに組み込み、3台のBlackmagic Cinema Cameraを使用した。

ピザンテ氏は「Fullscreenではスタジオで撮影したり、あちこち飛び回って撮影したりするのですが、Blackmagic Designの製品はうってつけのソリューションですね。例えば今年のVidConでいくつかのエピソードの撮影にカスタム・デザインのフライバックを使用しました。このフライバックには4台のMicro Studio Camera 4K、そして高品質の製作価値を提供するBlackmagic Design製品が含まれています。機内持ち込みが可能なサイズの2つのローリングケースに収まり、非常にポータブルです。」と語っている。

Blackmagic Studio Cameraに加え、Fullscreen StudiosはATEMのラックシステムも採用している。これにはATEM Production Studio 4K、6台のHyperDeck Studio 放送用レコーダー、Smart Videohub 40×40 ルーター、SmartView 4K およびSmartView HD モニター、さらに複数のMini Converterが含まれる。プラヤ・ヴィスタの空き倉庫にゼロからスタジオを設置したが、今ではカメラを備えた8つの大型ステージと4つのポッドキャスト用ステージを有し、コントロールルームにはATEMやその他のBlackmagic製品を設定したエンジニア・ラックが備えつけられている。ステージフロアのすべての機材は、コントロールルームのスタジオにあるラックパネルを介して接続されている。

「テレビ放送のバックグラウンドを持ち、業界最高レベルのエンジニア

と、Blackmagic Designが提供するエンジニアリング、融合、サポートを活用して仕事できることは、私たちのプロダクションのニーズにとって、間違いなく最も費用効率が高い実現可能なソリューションです。」とピザンテ氏は語った。

将来に向けてFullscreenを最終的にはライブ配信プラットフォームにするつもりである、4Kで収録可能な製品に今投資しておくことで、近い将来に市場動向やフォーマットが変わっても新しいテクノロジーに再投資する必要がなくなる、とピザンテ氏は言った。

Fullscreen SVODプラットフォームのサンプルはwww.fullscreen.comもしくはApp Store、Apple TV、Google Playからアプリをダウンロードすることで閲覧することができる。

【本件に関する問い合わせ先】

Tel:03-5361-6312 Fax:03-5361-6313

Mail:arai@blackmagicdesign.com

◆Blackmagic Design :Soundfirmのデイドラ・マクルランド氏、「RED DOG: True Blue」のカラーグレーディングにDaVinci Resolve Studioを使用

Blackmagic Designはカラリストのデイドラ・マクルランド氏(CSI)が、映画「RED DOG」(2011年)の期待の続編「RED DOG: True Blue」のカラーグレーディングにDaVinci Resolve Studioを使用したことを2016年12月15日発表した。マクルランド氏は、ポストプロダクションスタジオ、Soundfirmのメルボルンのスタジオで同作品のグレーディングを行った。

2011年の「RED DOG」の制作に携わったチームが再集結し、続編は、西オーストラリアのビルバラで牧場を営む祖父の元で暮らすことになった、レヴィ・ミラー演じる11歳の少年ミックを中心に描かれる。ミックは退屈で厳しい牧場ででの生活を覚悟していたが、やがてオーストラリアの伝説となる犬に出会うことになる。

マクルランド氏によると、ステンダース監督は、舞台となった地域の1960年代のイメージをまとめたムードボードをグレーディング用に用意していたと言う。「ムードボードには家族写真や風景写真が含まれており、これらはすべて、エクタクロームフィルム独特のルック、つまり力強いカラーと光沢のあるブラックを有していました。アボリジニー画家のアルバート・ナマジラが描いた絵も参考にしました。赤やオレンジの大地、遙か遠くの青みがかった山々、ユーカリのセージグリーンなどです」とマクルランド氏は語る。

ビルバラの風景の撮影は、経験豊富なジェフリー・ホール撮影監督(ACS)が担当し、マクルランド氏は主人公のミックが厳しい現実に適応していく生き生きとした姿を強調した。ミックが新しい土地に馴染み、犬と親しくなるにつれて、乾いた大地に温かみが浸透していく。観客は画面に広がる強い色調や熱に慣れていく。

「ピルバラの風景のカラーの美しさを信じてもらえないように思えました。極端な色に見えますが、実はとても正確な色です。日没や夜明けのシーンなど、色が明る過ぎるかもしれないと感じるシーンがいくつかありました。しかし、ジェフリーが撮影した美しい映像には、これらの色が実際に含まれていました。単にグレーディングでこれを強調するかどうかという問題でした」

DaVinci Resolve Studio のカラーマッチパレットでカラーブーストを慎重に使用すれば、オーストラリア内陸部のカラーをほぼ忠実に実現できると同氏は言う。「希望通りの肌のトーンを得るのに、ミッドトーンディテールが非常に役立ちました。高コントラストの照明条件では、ミックと牧場使用人であるテイラー・ピートの肌のトーンが全く違っていましたがジレンマでした。テイラーは特徴的なカウボーイハットを被っていたため、顔が一層暗く見えていました。DaVinci Resolve Studio のトラッキング機能はとても優秀だったので、スキントーンの調整やフレーム内のトラッキングを効率的に行えました」物語の舞台は 1960 年代から現代へと移るが、現代の冷たいルックは、楽天的な「バラ色の眼鏡」を通した暖かい過去のルックと対照をなし、光沢のあるクリーンなルックで現実感を演出している。都市の景観や室内の鮮明で冷たい雰囲気は、1960 年代のピルバラの色と熱気の醸し出す雰囲気と著しい対象をなしている。不安感を表現するのに暗さ、ミックがついに牧場を去る希望にあふれるシーンでは明るさが、必要に応じて加えられた。

「おじいさんとミックの感情的な美しいシーンは、レンブラントの絵画のように、暗く、暖かみを感じる木のトーンで、親密で藪の中のような雰囲気を出す必要がありました。ビネットや、特定の部分に光と闇を使うことで、このシーンはデリケートな美しさが得られました。ミステリアスな雰囲気を出すために暗さを保ちながらも、表情が読める明るさが必要なシーンは難しいものです。ミックが洞窟で懐中電灯を失くすシーンでは、両方の世界をうまく引き出す必要がありました。暗めの露出設定で撮影されたシーンを明るくしようとするとうざい目立ってしまうことがあるので、DaVinci Resolve Studio のノイズリダクション機能は本当に役に立ちました。映像に妥協することなく問題を解決してくれました。」と同氏は語る。

別のシーンでは、顔が逆光で照らされ、帽子の影になり露出が十分でなかったマクルランド氏は顔が見えるようにルックを調整する必要があった。「形が複雑だったので、背景をロトスコープして後ろの空のディテールを保つことはできませんでした。そこで、別のショットの空で太陽光線のレイヤーを作り、極めてソフトなエッジのキーイングを行って、影の部分に重ねました。また、木々越しの日没のシーンでも同様の処理を行いました。グレーディングにより空が露出過多になったので、先に撮影されたショットの別の空を使って、夕焼け雲をキーイングしました」と同氏。

DaVinci Resolve Studio のカスタムカーブも、フレームの飽和した部分をコントロールするにあたって、他の部分に影響を与えずに済むので役に立ったと同氏は語る。「迫力あふれる火事のシーンの後は、疲れ切ったすすだらけの消防士と牧場使用人のショットでした。煙と埃を通すと、彼らの一部は黒こげになったように見えました。すすと埃の感じを出すために、Lum vs. Sat カーブを使用して暗い部分を真っ黒に見えるようにしました。埃に覆われたルックを得るのに非常に適し

たツールですね」

同氏は続ける。「極めて多くのルックに対応でき、複数のバージョンが作成できて、クライアントさんのチェックのために画面に表示できる機能を持っている DaVinci Resolve Studio には非常に助けられました。また、複数の PowerGrade スチルピンを作成できるのは、類似したショットのスチルだけでなくグレードも次のリールに持ち越せるので便利でした。」リールは別のプロジェクトとして保存されたので、同氏がグレーディングする間に追加の作業が行えた。

「赤土の PowerGrade ピンを作成したので、クリーフがショットを確認したい場合に、別に保存した他のリールを見ることができました。それから、リール 1 と、リール 2 から 5 のスチルが全てマッチしているか分割スクリーンで確かめることができました。現在と過去が切り替わる際に、夜のシーンで少年と父親の肌の色に一貫性があることが重要だったので、クローズアップ用に別の PowerGrade ピンを作成しました。カラートレースのようなツールは、カットに変更がある時はいつも役に立っています。DaVinci Resolve Studio の新しい編集ツールはソフトウェアの進化に合わせて、すべてを一層効果的にしています」と同氏は締めくくった。

RED DOG: True Blue は、2016 年 12 月 26 日にオーストラリアで公開予定。

◆シャープ : デジタルコードレス電話機 2 モデルを発売



シャープは、迷惑電話対策を搭載したデジタルコードレス電話機 2 モデル「JD-G56CL/CW」「JD-G32CL/CW」の発売を発表した。「お名前確認」「お断り」「あんしん相談」の 3 つの迷惑電話対策ボタンを、「あんしんワンタッチ」として、一ヶ所にまとめて配置している。

「お名前確認」は、着信時に電話帳未登録者など知らない相手から着信があった場合、電話に出ずにボタンを押せば相手の名前を確認するメッセージが流れ、「お断り」は、迷惑電話を受けてしまった場合にボタンを押すと、メッセージを流した後で電話を切り、「あんしん相談」は、不審な電話やしつこい勧誘電話を受けた後でボタンを押せば、家族や警察など予め登録した相談先にワンタッチで電話をかけられる機能である。また、子機は従来機種に比べコンパクトで、握りやすくなった新デザインを採用している。

「JD-G56CL/CW」はかかってきた電話を親機で受けた場合でも電波の届く範囲であれば話しながら部屋を移動できる「親機コードレス」を搭載、「JD-G32CL/CW」はコンパクトな本体に、よく使うダイヤルボタンを見やすく設計したシンプルなデザインのエントリーモデルである。

【本件に関する問い合わせ先】

TEL : 0120-663-700

◆シャープ：サイネージショーウィンドウをJR 東京駅にオープン



シャープは、JR 東日本東京駅の八重洲中央口改札内に、「デジタルサイネージによる映像」と「商品を展示するショーウィンドウ」を組み合わせて演出する「サイネージショーウィンドウ」を設置し、2016年12月17日(土)に運用を開始した。

デジタルサイネージ部は70V型のフルHD液晶ディスプレイを3枚組み合わせて119インチ相当の大画面を実現。液晶ディスプレイの横には、商品を展示するショーウィンドウを設置。迫力ある映像と商品展示を組み合わせることで、訴求力の高い演出が可能となった。同社製品の紹介やテレビコマーシャルなどの情報発信に活用される。

◆ジャパンマテリアル：スマートフォンソリューション「スマリサ」の新バージョン「スマリサ クラウド版」販売開始

～あなたのいる場所の専用アプリに变身！

ビーコン×スマホ×サイネージで連動する 情報提供システム
「Smart Link Signage スマリサ クラウド版」を発売～

ジャパンマテリアルは2017年1月よりデジタルサイネージプレーヤー BrightSign と iBeacon 連動するスマートフォンソリューション「スマリサ」の新バージョン「スマリサ クラウド版」を販売する。スマリサは、「Smart Link Signage」の略で、iBeacon/Beaconによりデジタルサイネージプレーヤー BrightSign とスマートフォンアプリが連動することで、プッシュ通知、自動表示切替、多言語対応、属性別情報表示、導線分析・視聴率調査を行うためのログデータ収集など、今までにない新しいサービス提供を可能にしたデジタルサイネージシステム。東京タワーやジュエルイルミネーション、小田原城址公園などで導入されている。

「スマリサ」アプリは「スマリサ」を利用する名所や施設を訪れた際、各所に設置されたビーコンの信号に反応して、その名所・施設のアプリに姿を変え、1つのアプリで様々な名所の観光を楽しむことができる。美術館や博物館、旧所・名所、宿泊施設など、施設内や周辺情報の表示や音声ガイドスのほか、クーポンやオリジナルゲームの配信なども可能。クラウド版がラインナップされた「スマリサ 2.0」は情報配信数の少ない施設・店舗でも手軽に導入できる。同社は2020年東京オリンピック・パラリンピックとその先へ向け、訪日外国人にも対応したサイネージソリューションを提供する。

【本件に関する問い合わせ先】

TEL：03-5323-0820 FAX:03-5323-0821
e-mail：sales-IT@j-material.jp

◆ジャパンマテリアル：「BrightSign」の新しい採用事例を発表

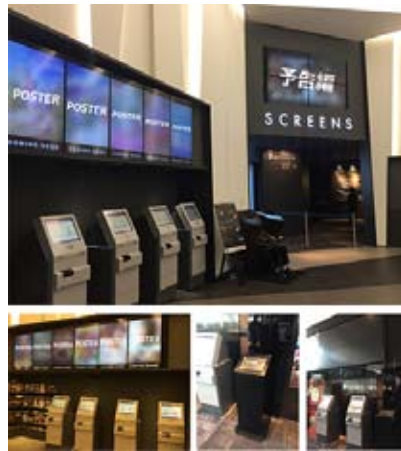
ジャパンマテリアルはサイネージプレーヤー「BrightSign」の新しい採用事例を2件発表した。

●国立新美術館で開催中「19th DOMANI・明日展」



国立新美術館で開催中の企画展「19th DOMANI・明日展」にて「BrightSign シリーズ」が使用された。使用されたのは展示室に設置された6つの壁に、BrightSign で同期再生された映像がプロジェクターより出力されている南隆雄氏の展示作品「Medi」、床に設置されているモニターの映像、およびプロジェクター経由で天井のパネルに投影された映像が BrightSign で再生されている平川祐樹氏の「Vanished Tree」。

●映画館 ミッドランドスクエアシネマ



名古屋駅そばの映画館ミッドランドスクエアシネマのサイネージに「BrightSign シリーズ」が採用された。映画館ロビーでポスターの代わりとしてチケット販売機上の6面の縦型モニターに上映作品のポスター画像などが表示、また劇場入口の4面マルチモニターには上映作品の予告編などが表示されている。他、映画館入口付近の屋外に設置されたモニターにはスケジュールや上映作品を紹介するコンテンツが表示されている。

【本件に関する問い合わせ先】

TEL：03-5323-0820 FAX:03-5323-0821
e-mail：sales-IT@j-material.jp

◆シンタックスジャパン :RME の新たなリファレンスー 「ADI-2 Pro」国内出荷開始



シンタックスジャパンは大サンプルレート768kHzならびにDSD11.2MHzの再生・録音にも対応したAD/DAコンバーターであると同時に、USB DAC、USB オーディオ・インターフェイス、さらにハイエンドなヘッドフォン・アンプとしても最高品質を提供する「ADI-2 Pro」を2016年12月17日から発売した。価格はオープンブライスで市場予想価格は200000円前後。

■PCM 768kHz / DSD256 (11.2MHz)



ADコンバーターには4チャンネル仕様の旭化成AK5574をデュアル・モノで使うことにより、2チャンネルのアナログ入力において3dBのノイズ軽減を実現している。DAコンバーターには2ch プレミアムDAC、AK4490を2系統のステレオ出力にそれぞれ1基ずつ搭載。EQ、位相メーター、スペクトラム・アナライザーといった内部シグナル処理には2.17ギガフロップ(2882MIPS)の高パフォーマンスDSPを使い、768kHzでも十分なパワーを得られる仕様になっている。

■緻密にデザインされたメインボード



メインボードには10層構造の基板を使い、パワフルかつ分離の良い音を実現。また、全ての内部アナログ・シグナル経路は完全にバランス回路として配置するとともに、音質に影響を与えるコンデンサーは唯一入カソケット(DCプロテクション)にのみ、定評のあるニチコンのオーディオ用不分極電解コンデンサーMUSEを使用している。

■SNR 120dB / THD 0.0003%



RMEの技術の粋を結集してスクラッチで新たにデザインされたアナログ入出力回路には、特別に開発したディスクリット・ハードウェアによる高性能の切替スイッチが搭載されている。慎重に選択されたこれらのコンポーネンツにより、120dBのSN比、0.0003%の歪み率、そして、

周波数特性は0Hzから最高120kHzという驚異的なパフォーマンスを実現した。

■高解像度の液晶ディスプレイ



5バンド・パラメトリックEQ、バイノーラル・クロスフィールド、ラウドネス・フィルタ、AD/DAフィルタの切替等々、通常のDACにはない多彩な機能を搭載する「ADI-2 Pro」は、フロントパネルに高精彩、高画質、広視野角を特徴とするIPS(In Plan Switching)方式の液晶パネル、3つのプッシュ機能付きエンコーダーと4つのボタンが配置されており全ての機能に直感的にアクセスが可能。

■究極のヘッドフォン・アンプ



出カインピーダンス0.1Ω、最大出力レベル+22dBu、最大出力は2.2W/チャンネルという特性を備えたヘッドフォン出力は、SN比が120dBと事実上ノイズ・フリーのモニタリングが可能。また、ヘッドフォンポートは「Extreme Power」出力仕様になっており、2つのポートは同じソースを聞くだけでなく、それぞれ異なるソースをモニターすることが可能であるとともに、同時に使用することによりヘッドフォンのバランス接続にも対応する。

◆ソニービジネスソリューション :西武鉄道株式会社より 長寿命なりチウムイオン蓄電池搭載の無停電電源設備(UPS) を受注

ソニービジネスソリューション株式会社は西武鉄道株式会社よりIPネットワーク通信機器用のリチウムイオン蓄電池搭載の無停電電源装置(UPS)をシステムとして受注したことを2016年12月15日に発表した。

災害等の停電時における、駅間通信用のハブ、スイッチ等のバックアップ電源としての採用であり、同システムにはソニー製のオリビン型リン酸鉄リチウムイオン二次電池を搭載する。一般的なUPS(Uninterruptible Power Supply)に採用されている鉛電池と比べて約3~4倍の長期間の使用が可能で、電池交換業務や管理工数を軽減する。長寿命に加えて、省スペース、高速充電性能、高い安全性能が評価されて採用になった。このシステムによってIP化された通信設備において停電などにより電力が絶たれた場合でも、バックアップ電源により通信手段が確保できるほか、情報共有を通じて交通機関の混乱を最小限に抑える効果が期待される。

【本件に関する問い合わせ先】

ソニービジネスソリューション(株) 業務用商品相談窓口
TEL: 0120-788-333 (フリーダイヤル)
050-3754-9550 (携帯電話・PHS・一部のIP電話)

◆キャノンマーケティングジャパン: 鋤田正義写真展 「SUKITA/M BLOWS UP David Bowie & Iggy Pop」を 開催



キャノンマーケティングジャパンはキャノンギャラリーSにて鋤田正義氏による写真展「SUKITA/M BLOWS UP David Bowie & Iggy Pop」を開催する。2016年1月に亡くなったアーティストデヴィッド・ボウイとデヴィッド・ボウイ同様に著名なアーティストであるイギー・ポップ両名の秘蔵写真60点を展示。70年代からデヴィッド・ボウイを撮影し続けた鋤田正義氏による写真展で、同時期に開催されるデヴィッド・ボウイ大回顧展「DAVID BOWIE is」日本開催と連携するもの。作品はキャノンの大型プリンター「imagePROGRAF」でプリント、展示される。

概要

開催日程: 2017年1月19日(木)～2017年3月6日(月)
開催時間: 10時～17時30分
休館日: 日曜日・祝日
開催会場: キャノンギャラリーS (住所: 東京都港区港南2-16-6 キャノンSタワー1階)
交通案内: JR品川駅港南口より徒歩約8分、京浜急行品川駅より徒歩約10分
入場料: 無料

トークイベント

鋤田氏とエディトリアル・デザイナー羽良多平吉氏が展示作品を投影しながら撮影秘話などについて語る。(事前予約制)
日時: 2017年1月21日(土) 16時00分～
会場: キャノンギャラリーS (住所: 東京都港区港南2-16-6 キャノンSタワー1階)
申込方法: ホームページ canon.jp/event より受付
定員: 300名(先着順、参加無料)

作家メッセージ

1977年、デヴィッド・ボウイとイギー・ポップが日本にやって来た。ボウイがプロデュースしたイギー・ポップのアルバム『The Idiot』の発売に合せてのプロモーション来日。ツアーでの来日とは違い、彼ら

にも時間の余裕があるようだったので、僕の方から「撮りたい」と依頼をしたところOKが出て、急遽フォトセッションが実現することになった。原宿の小さな貸しスタジオで、デヴィッド・ボウイを一時間、イギー・ポップを一時間、フォトセッションすることができた。この、ボウイ、イギーとのフォトセッションで、僕はポートレイトのフォトセッションということに関して、いろんなことを学ばせてもらった。後に、この時の撮影されたものが、ベルリン三部作の一枚『Heroes』のジャケット写真に使われることになり、2013年には『The Next Day』のジャケットのデザインとして、新しく再び登場した日く付きの作品です。

『Heroes』のジャケット写真は、僕にとって大切な写真であり、代表作となった一枚です。

1977年、日本で撮影され『Heroes』のジャケット写真として世に出た一枚、そして、その時に同じ空間にいたイギー・ポップの写真を、今回、同時に展示することが出来ました。

鋤田正義

作家プロフィール

鋤田 正義 (すきた まさよし)

1938年、福岡県生まれ。ドキュメンタリーから広告、映画、音楽まで幅広く活動。代表的な写真集にデヴィッド・ボウイ「氣」、[Speed of Life]、[T-REX 1972]、[YMO x SUKITA]、畠野清志郎「Soul」等がある。近年ではロンドンのV&A Museum主催の展示会「David Bowie is」へ参加。また、イギリス、フランス、イタリア、オーストラリア、アメリカ等、世界各地で自身の写真展を展開中。2017年にはベルリンでの写真展を予定している。

【本件に関する問い合わせ先】

TEL: 03-6719-9021

◆カメラと写真映像の世界プレミアショー 「CP + (シーピープラス)2017」開催◆

一般社団法人カメラ映像機器工業会(CIPA)は2017年2月23日(木)～26日(日)に総合的カメラ映像ショー、「CP + (シーピープラス)2017」をパシフィック横浜およびBankART studio NYKで開催する。CP +は横浜に開催地を移して8年目、「日本カメラショー」時代から数えて50年を超える歴史を持つ世界をリードする総合的カメラ映像ショーで、前回は過去最高の67000人を超える動員を記録、42機種のワールドプレミア(世界初発表製品)が日本から世界に向けて発表された。

新製品展示だけでなく今回はBankART studio NYKで開催するアート・コミュニティスペース「PHOTO HARBOUR」やその他さまざまな企画が開催される。

概要

■開催日程: 2017年2月23日(木)～26日(日)
2月23日(木) 12:00～18:00(※10:00～12:00プレスタイム)

2月24日(金)25日(土) 10:00~18:00

2月26日(日) 10:00~17:00

※プレスタイムはプレス関係者・特別招待者・プレスタイム招待券持
参者のみの入場

■会場：パシフィコ横浜（展示ホール、アネックスホール、会議セン
ター）/BankART Studio NYK

■入場料：1500円（税込）（ウェブ事前登録で無料）

障害者手帳を持参の方、小学生以下の方は無料

■主催：一般社団法人カメラ映像機器工業会（CIPA）

■協賛：一般社団法人日本写真映像用品工業会

■後援：経済産業省/観光庁/神奈川県/横浜市/横浜商.会議所
/本貿易振興機構（ジェトロ）

■特別協力：日本カメラ博物館/日本新聞博物館/横浜美術館

■協力：公益社団法人応用物理学会 フォトニクス分科会/カメラ記
者クラブ/写真映像経営者協会/全日本写真材料商組合連合会/
東京写真記者協会/日本営業写真機材協会/一般社団法人日本オプ
トメカトロニクス協会/一般財団法人日本カメラ財団/公益社団法人日
本広告写真家協会/公益社団法人日本写真家協会/一般社団法人日本
写真学会/協同組合日本写真館協会/公益社団法人日本写真協会/一
般社団法人日本写真文化協会/一般社団法人日本電子回路工業会/日
本フォトイメージング協会/一般社団法人日本望遠鏡工業会/パシ
フィコ横浜/マグナム・フォト東京支社/公益財団法人横浜観光コ
ンベンション・ビューロー/横浜市写真師会（50音順）

■コーディネーター：凸版印刷株式会社

■主な出展分野

カメラ、レンズ、フォトアクセサリ、プリンター、画像処理ソフト、携
帯機器、ディスプレイ、プロジェクター、フォトフィニッシング、フォ
トブック、プリントペーパー、スタジオ用品・機材など

■出展社数・来場者数（2016年12.13.現在）

・出展社数：121社・団体（共同出展12社含む） 前回132社・団体（共
同出展15社を含む）

・出展小間数：1116小間 前回1,073小間

（主催者ゾーン、メディアパートナー含む）

・来場者数（目標）：70000人（前回67792人）

———注目のイベント———

■鈴木心写真館@CP+2017

写真家・鈴木心が全国各地で開催している出張写真館がCP+に登場。
被写体となりA4プリント（データ付き）をその場で持ち帰ることが
できる。

2月25日(土)10:00~17:00

2月26日(日)10:00~16:00

会場：パシフィコ横浜展示ホール2F E205/E206

■APA（公益社団法人日本広告写真家協会）プレゼンツ

学生限定「公募から就職までを考える」セミナー&ポートフォリオ
レビュー

広告業界の一流のクリエイター、プロデューサー、広告写真家が講師と
なり、今後広告業界で活躍したい学生に向けて業界が求める資質、プ
リントの技、プレゼンテーションスキルを高める方法など、公募や就職に
必要な知識や様々なテクニックについて話す。また、セミナー参加者が

ら希望者にのみ、講師にマンツーマンでBOOKや作品を見せて講評を
受けられる「ポートフォリオレビュー」も実施される。

2月26日(日)セミナー 13:00~14:00

会場：会議センター311~312 定員：144名（予定）

ポートフォリオレビュー 14:00~16:00

会場：会議センター313~314

■APA写真展

公益社団法人日本広告写真家協会が主催する公募展「APAアワード」
2015,16より「経済産業大臣賞」他受賞作品を展示。また「全国造
形教育連盟」と共催の小中学生達への実践授業「図工・美術授業にか
メラ」の集大成である「全国学校図工・美術写真公募展」2015,16の
「文部科学大臣賞」他受賞作品を展示、合わせて「図工・美術授業にか
メラ」子ども写真展を開催する。

2月23日(木)、24日(金)、26日(日)

会場：みなとみらいギャラリー

■アドビシステムズプレゼンツ

プロ・中～上級者向け画像処理セミナー

2月25日(土)

10:30~12:00 〈セッション1〉写したままから、感じたままへ

—LightroomとPhotoshopでクリエイティブな写真表現

13:00~14:30 〈セッション2〉Adobe Photoshop Lightroom

を使いこなす！プロが教える活用術

15:30~17:00 〈セッション3〉Photoshop CC 講座 スキル

アップを目指そう

会場：会議センター311~312

■CP+2017ワールドプレミアアワード

CP+で発表されるワールドプレミア製品の中から、来場者の投票で
グランプリを決定するアワードを実施し、会期中に発表、表彰する。

■CP+中古カメラフェア2017~100年余にわたるカメラの歴史
がここにある！~

メカニカルなクラシックカメラから人気のデジタルカメラまで、CP
+会場に全国の中古カメラ店が集結し一同に展示・販売する。

2月23日(木)~26日(日)10:00~17:00

会場：パシフィコ横浜アネックスホール

■フォトアクセサリアウトレット

CP+出展社の出店による、フォトアクセサリに特化したアウト
レットを開催する。

2月23日(木)~26日(日)10:00~17:00（最終日は~16:00）

会場：パシフィコ横浜アネックスホール

■アート・コミュニティスペースPHOTO HARBOUR（フォト・
ハーバー）

・日本最大級の参加型写真イベント 御苗場 vol.20 横浜

・フォトジン展示販売イベント PHOTO!FUN!ZINE! vol.5

2月23日(木)~26日(日)10:00~18:00（最終日は~17:00）

会場：BankART Studio NYK（CP+の入場証で入場できる）

■キーノートスピーチ

「女性が写真を元気にする」IoT時代におけるExifの可能性

一般社団法人カメラ映像機器工業会（CIPA）代表理事会長 笹宏行

2月23日(木)13:30~14:30

会場：会議センター301～302

定員：400名

■上級エンジニアによるパネルディスカッション「魅力あるカメラづくり」

コーディネーター：市川泰憲（日本カメラ博物館（JC11））甲田謙一（日本大学芸術学部写真学科 教授）

パネリスト（社名50音順）：片岡撰哉（オリンパス株式会社）／須田康夫（キヤノン株式会社）／大曾根康裕（株式会社シグマ）／中島健（ソニー株式会社）／中山正（株式会社ニコン）／森勉（パナソニック株式会社）／西村亨（富士フイルム株式会社）／小迫幸聖（株式会社リコー）

2月23日（木）15:00～16:30

会場：会議センター301～302

定員：400名

■CP+技術アカデミー

2月23日（木）13:00～15:45 2月24日（金）10:30～17:45

会場：会議センター311～312

定員：各72名

■スチルもムービーも！プロ向け動画企画

2月23日（木）24日（金）11:00～17:00

会場：会議センター303～304

・プロ向け動画エリア

一眼カメラを主とした最新動画ソリューションをトータルに紹介する。

・プロ向け動画セミナー

2月23日（木）11:00～12:30 【導入編】4K一眼ムービーのためのカメラ選び

13:15～14:45 【実践編】一眼ムービーのための録音講座

15:30～17:00 【動向編】360度VR動画入門

2月24日（金）11:00～12:30 【導入編】4K一眼ムービーのためのカメラ選び

13:15～14:45 【実践編】一眼カメラで機動力あふれる動画を撮るテクニック

15:30～17:00 【動向編】Webから印刷までマルチユースで4Kを活用する

定員：各250名

■キーポイントインテリジェンス デジタルイメージングセミナー

2月24日（金）10:30～11:20 ミレニアル世代の写真生活

11:20～12:10 イメージング業界は2017年以降どう変わっていくのか？

会場：会議センター301～302

定員：250名

■CIPA/GfK グローバルマーケットセミナー

2月24日（金）13:30～13:50 カメラ映像機器工業会(CIPA) 統計実績・出荷見直し

13:50～14:10 【Global】カメラ市場安定化への

糸口

14:10～14:40 【US】イメージングの最新動向

14:50～15:20 【ASEAN】進むテクノロジー化—

東南アジア市場を読み解く—

15:20～15:50 【Key Technology】テクノロジー

の進化とカメラ市場への影響

会場：会議センター301～302

定員：250名

■ドリーム・フォト・スタジオ

クロマキーを利用して宇宙、空、海などの背景を写真に合成、その場でプリントして渡す。

2月25日（土）26日（日）

会場：展示ホール2F E204

■日本写真館協会/日本写真文化協会 気軽な「ファミリー写真館」

2月23日（木）～26日（日）

会場：展示ホール2F コンコース

■写真文化首都「写真の町」北海道東川町『写真甲子園』

2月23日（木）～26日（日）

会場：展示ホール2F コンコース

■神奈川県 ご当地キャラクター観光PRゾーン

2月23日（木）～26日（日）

会場：展示ホール1F コンコース

■日本カメラ博物館 特別展示

古くて新しい！？ムービー・パノラマ・ステレオカメラの歴史展

2月23日（木）～26日（日）

会場：展示ホール内

【本件に関する問い合わせ先】

TEL:03-6741-4015 FAX:03-6741-4016

Email:press@cpplus.jp